

広島赤十字・原爆病院

所在地：〒730-8619 広島市中区千田町一丁目9番6号
 電話番号：082-241-3111 FAX番号：082-246-0676 URL：http://www.hiroshima-med.jrc.or.jp/
 アクセス：市内電車：日赤病院前下車 徒歩2分/鷹野橋下車 徒歩3分 広島バス：日赤病院前（日赤病院西）下車 徒歩3分 まちのわループ：日赤病院下車 徒歩3分



病院概要 令和2年4月現在

開設年：昭和14（1939）年
 院長名：古川 善也
 医師数：126人（研修医を除く）
 研修医数：1年目10人 2年目9人
 研修医の：広島大学、九州大学、山口大学、島根大学、徳島大学、高知大、主な出身大学、神戸大学、筑波大学
 病床数：565床
 診療科目：内科、肝臓内科、腎臓内科、血液内科、内分泌・代謝内科、脳神経内科、循環器内科、呼吸器科、消化器内科、精神科、外科、消化器外科、血管外科、乳腺外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科、産婦人科、小児科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、泌尿器科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、歯科口腔外科、病理診断科、緩和ケア科



病院のアピールポイント

当院は、2次救急指定医療機関、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院など様々な指定を受けており、広島市の中核病院として地域医療に貢献しております。特にがん診療には力を入れており、血液がん、肺がん、消化器がんなど多くの症例を有しています。内科系診療科では、それぞれの専門医が一般診察から専門的検査・治療まで指導しています。また、外科系診療科では、経験豊富な指導医のもと様々な術式が研修できる病院です。

研修プログラムの方針及び特徴

当院のプログラムは、研修医の進路や意向を考慮したうえで到達目標を達成できるように、指導医から助言を行いながら作りあげていきます。研修1年目は、必修科目の内科24週（3診療科を8週ずつ）、救急12週（麻酔科4週含む）、産婦人科4週、外科又は小児科4週、選択8週（4週）としています。研修2年目は、外科又は小児科の1年次未履修科、精神科、地域医療を必修科目とし、40週（36週）の自由選択期間で、多くの診療科の中から希望する科での研修が可能です。指導医も多数在籍しているため充実した研修を提供でき、院内外での研修も充実しています。（各診療科の講義・カンファレンス、研修医対象勉強会、研修医症例検討会、CPC、日本赤十字社での研修会）

初期臨床研修スケジュール

1年次	24週			12週	4週	4週	8週（4週）
	内科			救急 （麻酔科4週含む）	産婦人科	外科 または小児科*1	選択
2年次	4週	4週	4週	40週（36週）			
	外科 または小児科*1	精神科	地域医療・ 地域保健	選択			

※*1 外科または小児科… 2年間の研修期間内にいずれも4週必修で行う
 ※協力施設：医療法人せのがわ 瀬野川病院（精神科）、地域医療の協力施設はホームページをご覧ください。

指導医の体制 令和2年4月現在

※（ ）内の数字は、厚労省の開催指針に則った指導医講習会を修了している者の数

	内科	外科	整形外科	脳神経 外科	小児科	産婦人科	麻酔科・ 救急	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻 咽喉科	放射線科
指導医数	42 (26)	10 (5)	5 (3)	3 (2)	6 (5)	4 (3)	8 (6)	1 (1)	2 (1)	2 (1)	3 (2)	5 (2)

研修・認定施設（詳しくは、ホームページをご覧ください。）

- 日本内科学会認定医制度教育病院
- 日本腎臓学会研修施設
- 日本血液学会認定血液研修施設
- 日本内分泌学会認定教育施設
- 日本神経学会専門医制度教育関連施設
- 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- 日本消化器病学会認定医制度認定施設
- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 日本整形外科学会専門医制度研修施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設

募集要項（令和3年4月採用）

試験概要

- 採用予定数：9人
- 出願期間：各選考日の約2週間前までの予定（正式な日程が決まり次第当院ホームページ等へ掲載します。）
- 出願書類：当院指定の履歴書、卒業（見込）証
- 試験日：令和2年7月中旬から8月下旬予定（正式な日程が決まり次第当院ホームページ等へ掲載します。）
- 選考方法：面接、小論文、書類選考

当直

- 当直：有 1～2回/月
- 当直手当：10,000円/回
- 勤務時間：宿直 17:00～翌朝8:25
日直 8:25～17:00
- 当直後の勤務免除：有

指導医からのメッセージ

当院は、31診療科を持つ総合病院です。ローテーションプログラムは、個々の研修医の希望を取り入れたものとなるように配慮しています。各診療科には豊富な経験を持ち、研修医指導にも熱心な沢山の指導医がおり、患者さんに接する基本的な態度や問診・身体所見の取り方に始まり、各専門科での検査計画の立案・検査データや画像所見の読み方から治療計画まで、充実した指導が受けられます。また、必要な手技も習得でき、さらに、外科系診療科での手術や内科系診療科での侵襲的検査の助手としての経験も積むことが可能です。2015年度に完成した新棟の1階には高機能な救急外来を整備し、臨床医学の基礎であるプライマリ・ケアを学ぶ最適の場となっています。この充実した環境のもと、医師としての第一歩を踏み出してみませんか。



副院長兼臨床研修部長 前川 隆英

処遇

- モデル給与：1年次 4,340,000円
（年額）2年次 4,572,000円
- 手当：時間外手当、宿日直手当（10,000円）等
- 勤務時間：8:25～17:00
- 休暇：年次有給休暇（21日）、夏季休暇（3日）、その他特別有給休暇
- 社会保険：健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険、日本赤十字社年金制度

設備

- 研修医用宿舎：有（家賃：15,000～17,000円/月）
- 図書室：有
- 研修医室：有 ※総合医局内に研修医スペースあり
- 院内保育：有

研修医からのメッセージ

当院は多くの診療科を有し、希望する研修プログラムを自由に組み立てることができます。救急は2次救急ではありませんが、研修医がファーストタッチで見ることも多く、その後の検査や診断に至るまでのプロセスを救急専門医や上級医のもとで経験する機会が数多くあります。はじめはみな研修医一人に対応するのは不安でしたが、徐々に自信がつき、自分で緊急性や鑑別疾患を意識しながら診療に臨む姿勢は身に付いているように思います。また、当直は月に2～3回程度であり、内科・外科当直の先生方がそれぞれ指導して下さるため症例を絞ることなく経験することができます。医局は広島大学、九州大学の先生が双方おりますが、医局の垣根はとても低く、研修医の立場から見ても雰囲気良く相談しやすい環境です。ぜひ一度当院に見学に来て雰囲気を感じてみてください。



2年次研修医 美野 正彰

働きやすい勤務環境PR

当院は、中区千田町にありアクセスしやすい立地条件や新しくなった病棟、設備、医局と働きやすい環境が整っています。研修医の人数は1学年10名程度で一つの診療科を1～2名の研修医で回るため、十分な数の患者さんを担当でき、一つひとつの症例にじっくり向き合えます。また、総合病院の中でも血液内科・脳神経内科・リウマチ科など診療科が豊富であり、様々な症例を経験することができます。当直は月に3回程度で指導医のアドバイスを受けながら様々な救急疾患を経験できます。医局は総合医局ですので、研修中の診療科を越えて上級医との相談もしやすく、より良い研修ができる環境が整っています。



お問合せ先

申込担当部署：教育研修推進室
 事務担当者：原野・出口
 E-mail：kyouiku@hiroshima-med.jrc.or.jp